

# Powerbook 1400シリーズ 分解マニュアル

## 【交換に必要な工具】

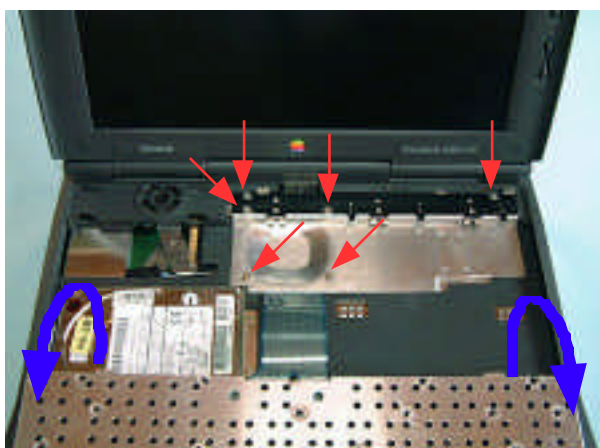
プラスドライバ、時計ドライバ(-)、ナット回しor ラジオペンチ



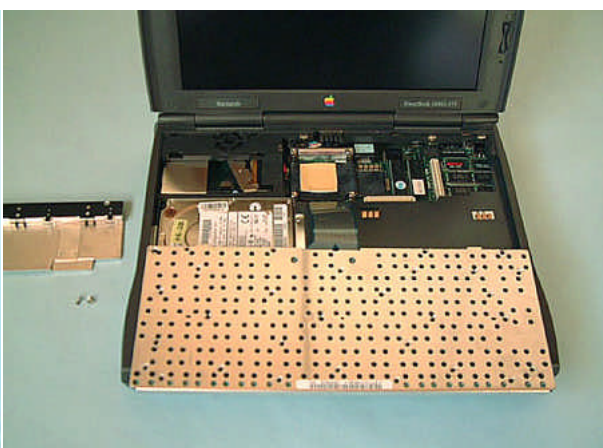
スピーカのネットカバーにマイナスドライバを差込み左に寄せて外す



キーボードをむこう側から引き上げれば外れる



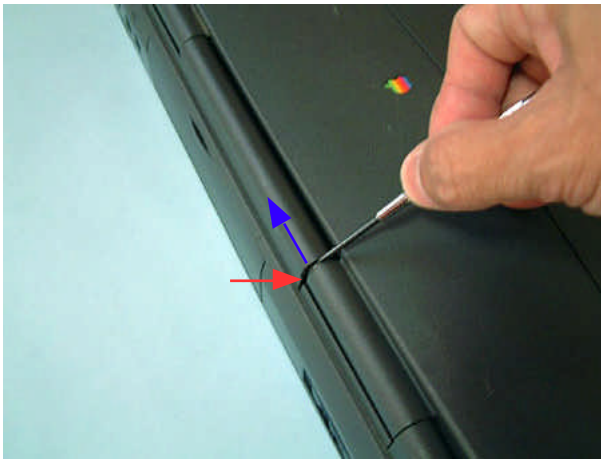
キーボードを手前に倒し、ヒートシンクカバーの6本のビスを外す



キーボードのフィルムコネクタの左右押さえ部分を、時計ドライバ(-)でこじ上げる



キーボードを外す。この時点までにメインバッテリーとFDDを外す。



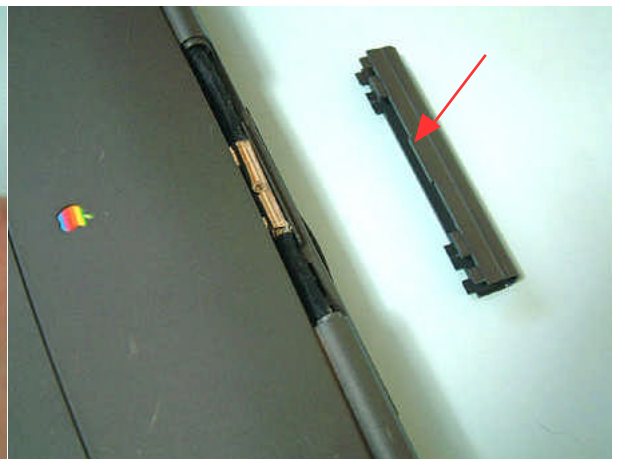
センターヒンジカバーにマイナスドライバを差込み少しだけスライドさせてすき間を作る



マイナスドライバを差込みテコの原理でこじ上げる。傷つけないためには、ドライバの下のカバー部にセロテープを巻いて作業。



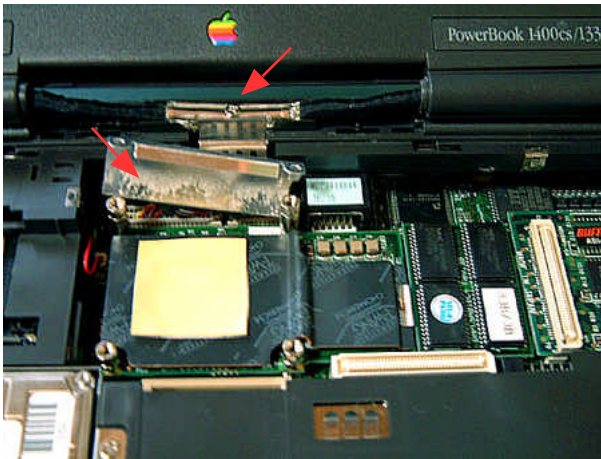
反対側のすき間にマイナスドライバを差込んで持ち上げ、今度はやや大きめのマイナスドライバを差込んでカバーを押し上げると外れる



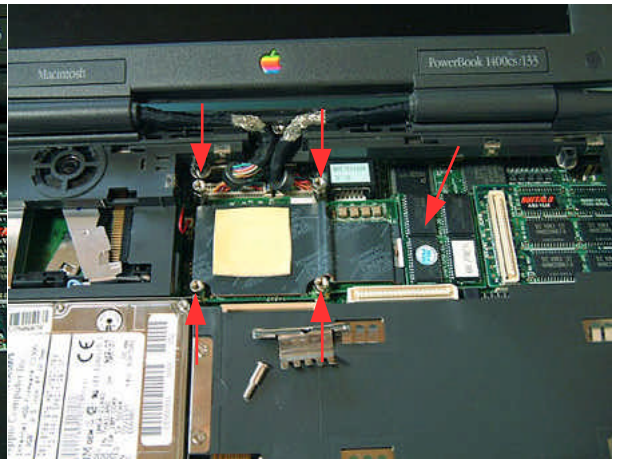
センターヒンジカバーには前後があり、凹凸があるほうがキーボード側。(装着するときは、かなり強めに真上から押し込まないと入らない)



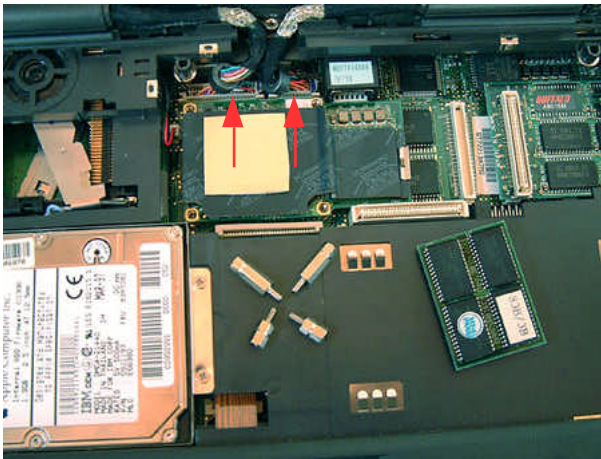
左のヒンジカバーにマイナスドライバを差込み左にスライドして外す。右側も同じ。



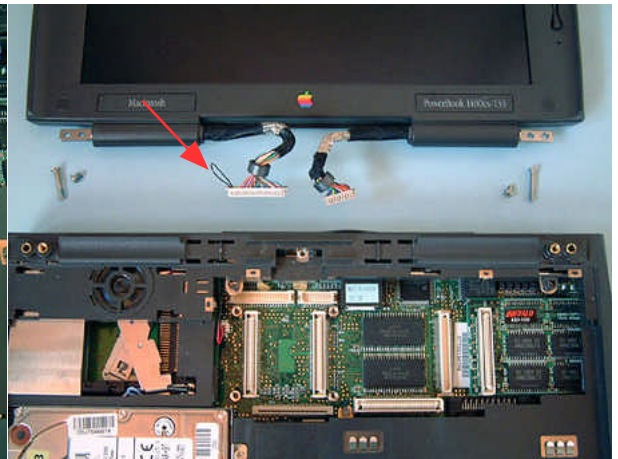
シールド板を引き上げて抜き、次に液晶ケーブルの固定金具のビスをはずす



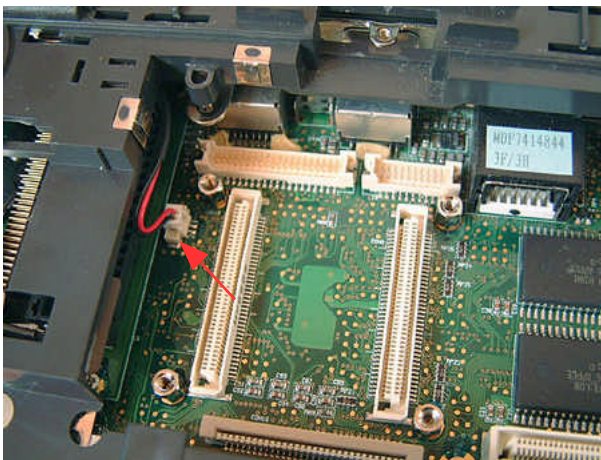
メモ리카ードを引き抜き、CPUカードを固定している4本の六角金属スペーサをナット回しで外す(ペンチだと傷がつきやすい)



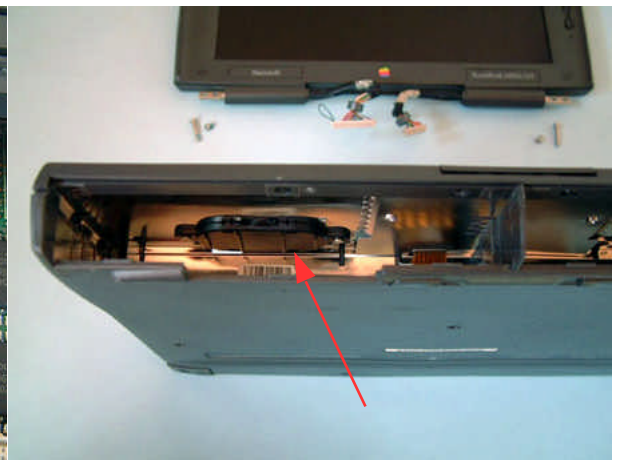
CPUカードを引き抜き、次に液晶ケーブルの2つのコネクタをマイナスドライバーで左右からこじ上げてはずす



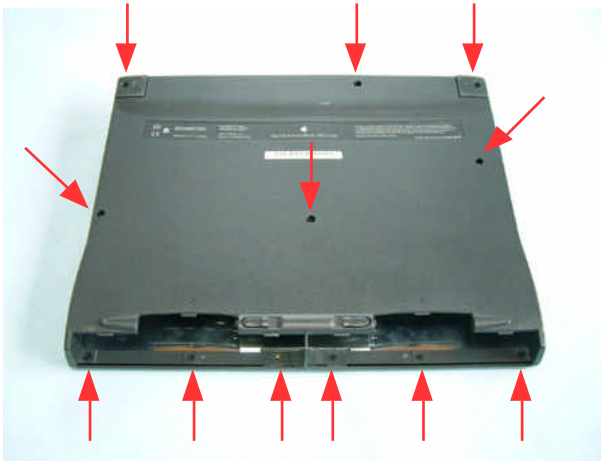
液晶ケーブルの左側のコネクタの左端にはループがあるので、これを持って抜いても良い



スピーカ用のコネクタをマイナスドライバーでこじ上げてはずす



左側パームレスト裏(メインバッテリーの上部)に内蔵電池が見える。166MHzモデルでは右側パームレスト裏にも見える。



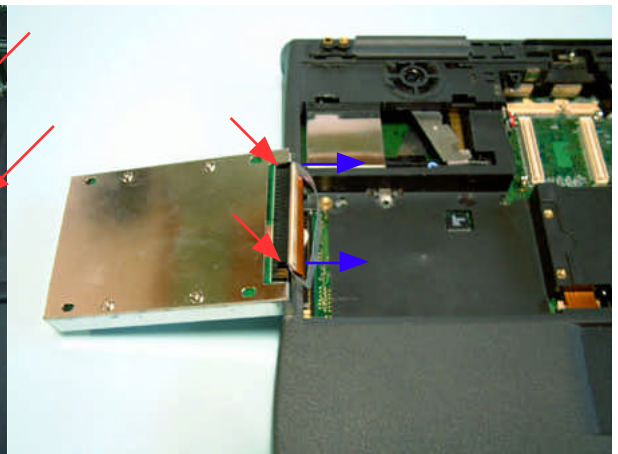
本体裏側の6本の長いプラスネジ、および  
パームレスト裏の6本の短いプラスネジをはずす



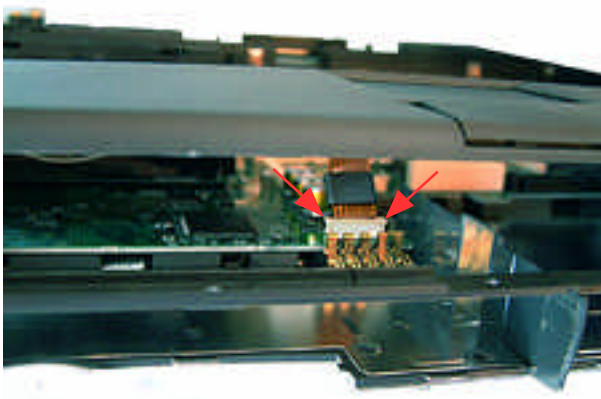
本体背面左右のプラスネジをはずす



HDDの2本の固定ネジをはずす。本体上面カバーを奥側から手前に向かって持ち上げて、HDDを少し右側に引き出し、HDDの接続ケーブルが出てきたら左側に裏返す。

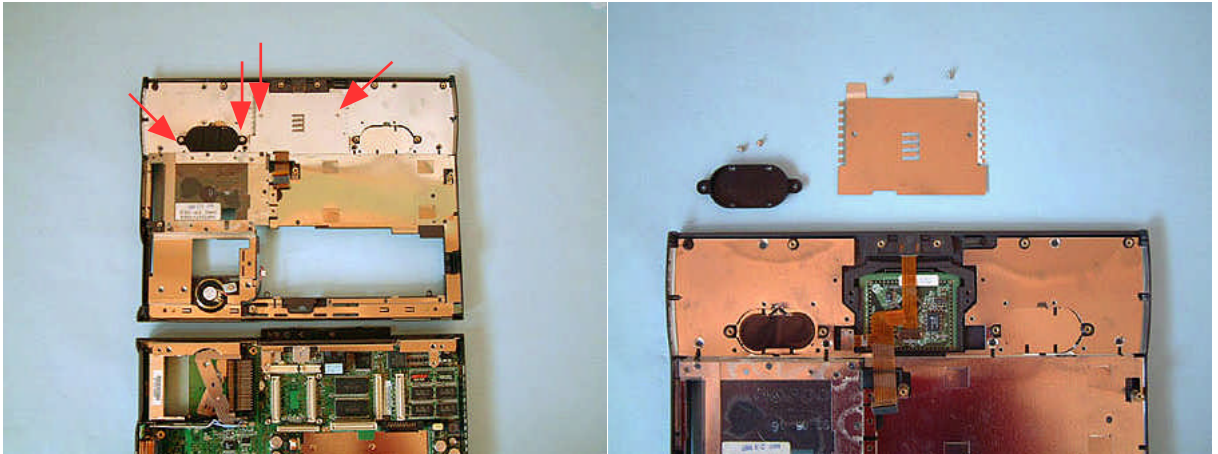


プラスチック製の透明取っ手を持つか、マイナスドライバでHDD接続コネクタをはずす

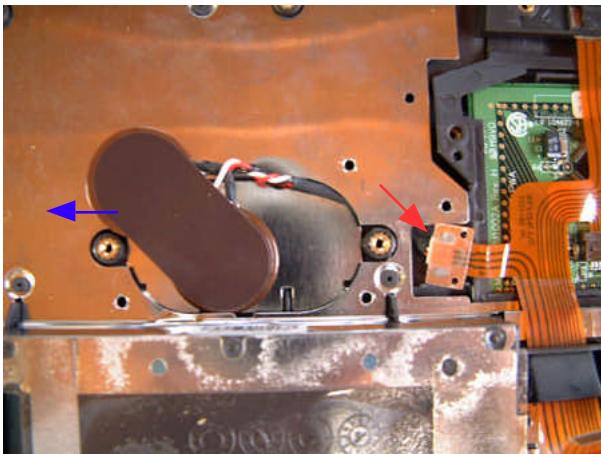


**分解組み立て作業の最難関**

トラックパッド接続フィルムケーブルを、マイナスドライバでコネクタ左右の押さえ部分をこじ上げて静かに引き抜く。



トラックパッド回路カバーと内蔵電池カバーの各2本のビスを外す



内蔵電池のコネクタを外し、電池ケーブルを左方向に引き抜く。このときマイナスドライバでアルミ板を少し持ち上げると抜けやすくなる。(=完了)

本マニュアルは、Powerbook 1400シリーズのPRAM内蔵電池交換を目的とした分解マニュアルです。電池交換に関係のない箇所の分解については記述しておりません。

本マニュアルの記載内容については、明示の有無にかかわらず、一切の責任を負いません。